

緑内障フレンド・ネットワーク
「緑内障市民公開講座」開催

日時:2008年9月14日(日) 14:00~16:00

場所:大阪国際会議場「グランキューブ大阪」5階 メインホール

緑内障の啓発を主に活動する患者組織である緑内障フレンド・ネットワーク(代表:柿澤映子 会員数:1,641名)は、2008年9月14日(日)、大阪国際会議場「グランキューブ大阪」5階メインホールにて、一般の方を対象に「緑内障市民公開講座」を開催いたします。

緑内障は、視神経が損傷を受け、視野が徐々に欠けていき、放置すると失明する危険性がある疾患です。40歳以上の20人に1人が発症しており、中途失明につながる視覚障害の原因の第1位であることが明らかになっています(2006年厚生労働省調査)。中でも、日本人に多い正常眼圧緑内障(NTG:Normal Tension Glaucoma)は、眼圧が正常値にも関わらず視野が欠けていくタイプの緑内障で、緑内障全体の約7割を占めており、そのうち約8~9割の患者が未受診といわれています。緑内障は、初期の自覚症状がほとんどないため、発見が遅れがちです。一度失った視野は元には戻らないため、失明を未然に防ぐためにも、早期発見・早期治療が重要です。

緑内障フレンド・ネットワークでは、緑内障について正しくご理解いただき、ひとりでも多くの方の早期発見につながるよう、「気になりませんか!眼の病気」と題し、緑内障専門医による講座並びに、近年の高齢者人口の増加に伴って患者数が増加している加齢黄斑変性症についての講座を開催いたします。中高年に多い2つの眼の病気に関して正しい知識を得る貴重な機会と存じます。報道関係のみなさまにおかれましては、ぜひ本講座の趣旨をご理解いただき、告知にご協力いただきたく、何卒宜しく お願い申し上げます。

記

日 時: 2008年9月14日(日) 14:00~16:00 (受付開始 13:30~)

場 所: 大阪国際会議場「グランキューブ大阪」5階 メインホール
(大阪市北区中之島5-3-51) 06-4803-5555(代表)

対 象: 一般

プログラム: 講演『気になりませんか!眼の病気』

1) 「加齢に伴う目の病気、加齢黄斑変性とは」

大阪大学大学院医学系研究科眼科学

講師 五味 文 先生

2) 「幸せな緑内障ライフ」

広島大学大学院医歯薬総合研究科視覚病態学教室

教授 木内 良明 先生

参加費: 無料

定 員: 1,000名(事前申込不要)

主 催: 緑内障・フレンドネットワーク

協 力: 日本緑内障学会

お問い合わせは
緑内障フレンド・ネットワーク事務局

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-2-16-501 TEL:03-3272-6971(担当:野田)

お問い合わせは、9/10(水)16時まで

会場地図:

・JR「大阪駅」駅前バスターミナルから、大阪市バス(53系統 船津橋行)
または(55系統 鶴町四行)で約15分「堂島大橋」バス停下車すぐ

< そのほかの交通 >

- ・ JR 大阪環状線「福島駅」
- ・ JR 東西線「新福島駅」(2番出口)
- ・ 阪神電鉄「福島駅」
- ・ 大阪市営地下鉄(中央線・千日前線)「阿波座」(中央線1号出口・千日前線9号出口)



緑内障とは

緑内障は眼球の中の圧力(眼圧)が上昇することにより視神経が損傷を受け、視野(見える範囲)が徐々に欠けていき、放置すると失明する危険性がある病気です。日本では40歳以上の20人に1人が発症しており、視覚障害(中途失明)の原因の第1位と言われています。特にNTG(Normal Tension Glaucoma: 正常眼圧緑内障)という眼圧が正常値にも関わらず視野が欠けていく緑内障のタイプが緑内障全体の約7割を占めていると言われています。NTGは眼圧検査だけでは発見できず、眼底検査、視野検査が診断の為に必要です。約8割から9割の患者が未受診と言われ、失明を未然に防ぐためには、早期発見、早期治療が大変重要です。

緑内障フレンド・ネットワーク <http://www.gfnet.gr.jp/>

緑内障フレンド・ネットワークは、2000年6月1日に設立された緑内障の患者組織です。緑内障の患者、家族・身内に患者のいる人、活動に賛同する個人、団体、企業などによって構成されています。代表には、自身も緑内障で、これまでも緑内障の知識普及のために活動を続けてきた柿澤映子が就任し、緑内障の研究と治療に長年携わってきた北澤克明・日本緑内障学会 前理事長が代表顧問としてサポートしています。また本ネットワークは、世界緑内障患者協会(WGPA)の一員として日本緑内障学会、日本眼科医会からも支持を得ています。これまでに、緑内障ホットラインの運営、ホームページの開設、東京都や厚生労働省への陳情、書籍の出版、会員の集い、会報の発行、患者手帳の発行、一般の方々への啓発活動等を行っております。